

項目	検討委員会での主な意見 (全体会(第1回H30.8.23)、県民会館部会(第1回H30.9.10、第2回H30.10.22))	意見を踏まえた対応
1 基本構想策定の経緯	-	-
2 基本理念及び目指すべきまちの将来像	◎神戸のイメージを大事にしながら、兵庫五国それぞれの持ち味を示す ◎様々な機能が集積し、相互に響き合うような複合的な構成をもった環境形成が必要	-
3 まちづくりの基本方針 (1) 人々が集い、ふれあい、賑わう「まち」 ・人々が集う拠点の再生【つどい】 ・国際的な交流拠点の誘致【ふれあい】 ・新たな賑わいの創出【にぎわう】 (2) 安全・安心で、ゆとりある「まち」 ・県政の指令塔となる本庁舎の再整備 ・緑豊かな都市空間の整備 (3) 民間からの提案と活力の導入 ・公共空間を活用した民間主体の賑わいづくり ・民間事業者アドバイザーの活用	【つどい・ふれあい・にぎわい】 ◎兵庫五国の情報が集約され、観光客が立ち寄れる拠点(レファレンスセンター)や、起業家が交流できるような情報拠点が必要 ◎新たなランドマーク性を持った外資系ホテルやオフィス・サテライトキャンパスの誘致 ○市内の特色ある回遊スポットとつないでいく取組み ○高齢者や障害者には元町駅からの徒歩だけでは厳しいため、三宮や神戸からの2次アクセスの検討 ◎駅を境に南北が遮断されているため、駅を起点とした南北の人の流れを生み出すまちづくり ●今回提案している縦軸と三宮から海、新神戸の通りの2本のラダー(梯子)をつなぐ取組みが必要 ●この地区をどのようなルートで景観や風景を楽しんでいるかなどの実態調査が必要(一部資料3にて整理) 【緑豊かな都市空間】 ◎まち歩きを好む外国人の回遊に結びつくように、まちのシンボル軸を強化 【民間からの活力の導入】 ◎行政機関の再整備という観点ではなく、民間の知恵や資金を活用 【その他】 ●ヴィーナステラスからの眺望景観は維持するなど、神戸らしい眺望景観や環境に配慮した整備 ●地区全体として潤いのある心休まる空間、県民会館もその一連の中に含めるべき ●周辺に分散する様々な県関係団体、協会等の集約 ●エネルギーの面的利用についても検討	◎目指すべきまちの将来像及びまちづくりの基本方針へ反映 ●基本計画策定時に検討 ○今後の課題
4 土地利用計画	-	-
5 本庁舎の再整備の基本的な考え方 (1) 基本理念 すこやか兵庫の未来を創る県政の拠点 (2) 目指すべき方向性 ・県民の安全・安心な暮らしを守る庁舎 ・県民に質の高い行政サービスを提供する庁舎 ・県民が利用しやすい庁舎 ・ランドマークとなる庁舎 ・環境に配慮した庁舎	◎防災拠点としてしっかりした庁舎が必要 ◎景観に配慮したデザインとするとともに、環境にも優しい建築物 ○県庁舎の果たすべき役割を明確化したうえで検討(県庁の所在地のあり方を含めて)	◎本庁舎の再整備の基本的な考え方へ反映 ○資料2のとおり整理 ●基本計画策定時に検討
6 県民会館の再整備の基本的な考え方 (1) 基本理念 多様な人々が集う幅広い文化創造の拠点 (2) 目指すべき方向性 ・気軽に良質な芸術文化に親しむ環境 ・人材育成の情報発信 ・県民の幅広い交流拠点 (3) 再整備にあたっての留意事項 ・来訪者等が安心して訪れる施設 ・近隣の地域資源との連携 ・県関係機関等の事務所との調和	【全体】 ◎人が集まるランドマーク的な魅力付け ◎若手芸術家が憧れるような華やかなデザインの施設、設計作業には芸術家も参加させるべき ○子供や若年層の利用を増やす仕掛け ●開放感のある図書館のようなスペースの設置や蔦谷書店やスターバックスといった事業者を取り込んだ仕組み ●1階のラウンジスペースは、誰もが気軽に休憩しやすい落ち着いた空間を維持 ●休館期間が生じないような工事手法 ●現在入居している団体を引き続き入居させるのか検討 ●機材の搬入出用のEVは大きく ●荷捌きする場所には屋根が必要 ●JR元町駅西口から向うルートが前提となる場合は坂道等に対して何らかの対応が必要 【ホール】 ◎楽屋や若者の利用を促すためのスタジオや練習場所 ◎新人や若手が気軽に利用しやすい300~400席規模で、運営コストが低いもの ●高齢者や障害者などが利用しやすいようユニバーサル視点が必要 ●高層階のEV数などにも影響があるため、配置階は早めに決めるべき 【ギャラリー】 ◎小展示室は不要、大きな展示室を区画割りして利用、天井高は4mあれば十分 【新たな賑わい機能】 ●事務所機能を賑わい機能の一つとして利用すべき ●ターゲット層の整理が必要 ●コワーキングスペースやインキュベーション機能を持たせ、ビジネスの拠点としてもどうか ●-県民会館の高層階にホテルを作ることも検討	◎県民会館の基本的な考え方、芸術文化機能の充実強化策へ反映 ●基本計画策定時に検討 ○今後の課題
7 各施設の整備規模の目安	-	-
8 事業手法、想定事業費、スケジュール	-	-